

新時代の農業を担う!!

埼玉県農業大学校は、県民の農業及び食料に関する理解を深めるとともに、農業及び関連産業の担い手を養成することを目的としています。

農業経営に必要な
技術と知識を備えた
実践力のある人材
を育成する。

グローバルな視点
と企業の経営感覚
を身につけた人材
を育成する。

地域の農業を
けん引するリーダーを
育成する。



統合環境制御によるハウス管理



先進農業技術研修

教育方法

- 1 課題解決型学習を基軸として、実践教育を強化する。
- 2 講義、実習、農家研修を効果的に組み合わせ各人の能力に応じた教育を行う。
- 3 農業法人経営者、流通販売企業家など第一線の外部講師を活用する。
- 4 農業経営育成のためのカリキュラムを編成し、必要な免許・資格の取得を支援する。

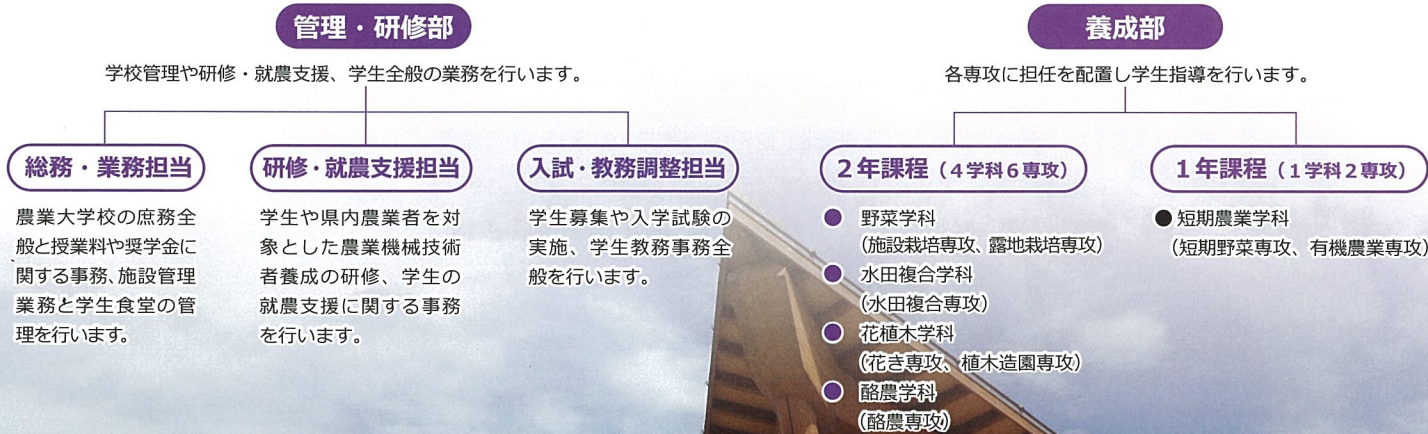


トラクター実習



外部講師の講義

大学校の組織



特典

1 専門士

2年課程卒業生は、「**専門士**」の称号が付与されるほか、人事院規則により「**短大2卒**」相当とみなされます。



2 資格 (植木造園専攻)

花植木学科植木造園専攻の学生は、**2級造園施工管理技術検定の受験資格の実務経験年数が短縮**されます。



3 資格 (酪農専攻)

酪農学科酪農専攻の学生は、家畜(牛)人工授精師資格の**特定科目が免除**されます。



4 大学編入

2年課程卒業生は、**4年制大学3年次編入試験**を受験することができます。

講義科目

- **教養科目** (2年課程のみ)
幅広い分野の教養を身につけるとともに、読解力や表現力の向上を目指します。金融管理、時事問題、体育、統計・情報処理、生物、心理、郷土史、国語表現、英語
- **共通専門科目**
農業に関する基礎的な知識を学びます。
 - ・ 2年課程 農業概論、農業機械、土壌肥料、農業経営論、社会人基礎、経営研究、農業簿記、農産物流通、農業気象、環境保全型農業、食品概論、食品各論・加工学、生物工学、基礎実験、農産加工実験、生物工学実験、農産物加工販売研究、有機農業経営研究、農業機械演習、毒劇物危険物取扱基礎演習、ゼミナール、農産物加工応用演習、経営分析演習、世界の農業事情、世界の農業事情演習(海外研修)
 - ・ 1年課程 農業・流通・販売・食品関係法、農産物マーケティング論、農業概論、農業経営論、食品加工実習、農業機械、土壌肥料、農業簿記、農業気象、食品概論、食品各論・加工学、農業機械演習、毒劇物危険物取扱基礎演習
- **専攻科目**
各専攻の専門的な技術と知識を学びます。実習、プロジェクト活動等(各専攻の専攻科目は専攻紹介に掲載しています。)

取得可能な資格

- 大型特殊自動車(農耕車限定)免許
- けん引(農耕車限定)免許
- 毒物劇物取扱責任者
- 危険物取扱者(乙種4類)
- 農業機械士
- 造園技能士(3級・2級)(植木造園専攻のみ)
- 2級造園施工管理技術検定(学科)(植木造園専攻のみ)
- 玉掛け及び小型移動式クレーン取扱資格(1t未満)
- 小型車輻系建設機械取扱資格(1t未満)
- フォークリフト運転技能者
- 家畜(牛)人工授精師(酪農専攻のみ)
- 食品衛生責任者
- (一部短期農業学科では取得できないものがあります)

入学金無料

授業料 年額118,800円

- 受験資格 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した方
- ※詳しくはホームページをご覧ください。

専攻紹介

2年課程	野菜学科 定員 30名 施設栽培専攻 露地栽培専攻	
	水田複合学科 定員 5名 水田複合専攻	
	花植木学科 定員 15名 花き専攻 植木造園専攻	
1年課程	酪農学科 定員 5名 酪農専攻	
	短期農業学科 定員 35名 短期野菜専攻 有機農業専攻	